

「実りの秋」です

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉があるように、10月に入り、過ごしやすくなってきました。

秋と言えば、「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」「実りの秋」等、何をするにも活動しやすい季節になってきました。

子どもたちにも、充実した秋を過ごし、どんどん力を付けていてもらいたいと思います。



大発見！
今年は、白の彼岸花が、自転車置場横に咲きました。昨年まで咲いていたのでしょうか？
職員も驚きました！



毎年、同じ場所（体育館南側）に赤い彼岸花が咲きます。今年も、鮮やかな赤い彼岸花が姿を見せてくれました。秋ですね。

10月の児童朝会を行いました

9月には大きな学校行事がたくさんありました。その中の一つに、5年生の自然学校がありました。今年自然学校は、4泊5日です。どのプログラムも、仲間と協力しなければならぬものばかりでした。5年生が頑張ってきたことは、しっかり話を聴くことと8つのポイントを意識しながら集合することです。5年生のみなさんは、一日一日、よく成長しました。頑張りました。



6年生は、修学旅行に行ってきた。全校生や6年生のお家の人が平和への願いを込めて折った折りづるを、広島に届けてきました。
そして、『平和』について、しっかり学んできました。

ユネスコ憲章を聞いたことがありますか。これは、国際連合（国連）の機関でうたわれているものです。
『戦争は、人の心の中で起こるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない』という文章があります。
これは、どういうことでしょうか。

人の心の中には、善い心と悪い心があります。
人の心の中に、平和の砦を築くということは、自分の心の中の善い心を守ることです。
善い心が悪い心に負けてしまうと、悪い行いが表に出てきます。だからこそ、自分の心の中に平和の砦を築き、自分の心の中に悪い心が頭を持ち上げないように、自分の強い意志で止めるということです。そのためには、善悪の判断を自分の心の中でしっかりとつけること。そして、やっていいこととやってはいけないことをしっかりと判断することが大切です。



例えば、「早く運動場に行きたいな」と思う中で、「廊下を走ってもよい」か「廊下は歩こう」かは、自分の心が決めます。「危ないこと・怪我につながること・人の迷惑になることはやめよう」と考えて、「廊下を歩くこと」を自分で判断できるということは、自分の心の中に平和の砦（善悪の判断がきちんとできる）が築かれているということです。

目の前の誘惑に負けず、やっていいことといけないことをしっかりと判断して行動できる平荘っ子に育ててほしいと思います。

今月の生活目標は、『**相手のことを思いやり親切にしよう**』です。自分も相手もよい気持ちになるように過ごしましょう。

音楽会の準備を頑張りました（5年生）

10月2日（月）の1校時に、5年生が、音楽会の準備をしました。この日から、音楽会の体育館練習が始まります。友だちと協力しながら、3階の音楽室から楽器を運んできたり、体育館の会場準備をしたりと力を発揮してくれました。



5年生のみなさん、音楽会の準備は、本当に大変だったと思いますが、友だちと協力して会場づくりができましたね。ありがとう。おかげで、全校生が、精一杯音楽会の練習に励めます。頑張りました。